

吉備の路で、

今回は吉備中枢の史跡の中でも、発掘調査が行われている、現在注目の2つの遺跡について取り上げます。この2遺跡はCGが作成されており、視覚的に築造当時の姿を思い浮かべることが出来ます。どちらも古墳時代と奈良時代に大規模な地形改変を行った遺跡であり、多くの労働力を費やしていることが分かります。現在でも現地でその様子が確認できるのでCGと現地を見比べながら当時の様子を想像してみてください。

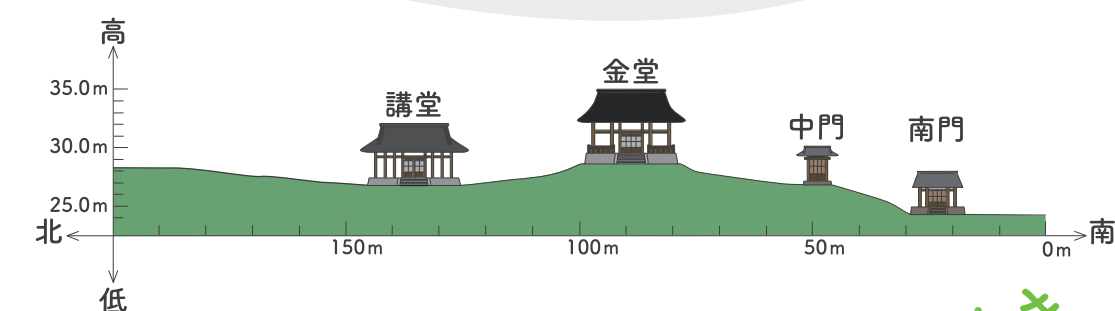
金堂



金堂は建物規模5間×4間(東西20.8m・南北13.1m)、東西25m・南北17mの基壇に建てられた礎石建物です。本尊をまつる施設で、国分尼寺の中で最も重要な建物になります。寺域全体が丘陵上に立地しているため、東西南北に地形の起伏があります。その中でも、金堂は最も高所に建てられており、地形の面から最も重要視されていたことが分かります。

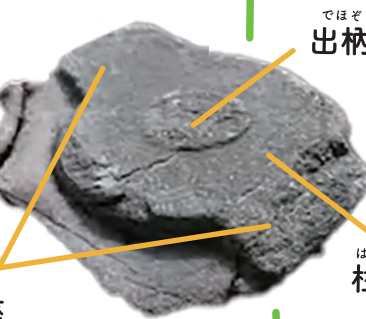


金堂調査の様子(北西から)



ときめきポイント

金堂には、全国の国分尼寺では珍しく建物を支えるための礎石が多く残っています。礎石には、土台となる横木を置くための地覆座、柱の土台である柱座、さらに柱を固定するために上に突き出した出納があり、花崗岩を巧みに加工しています。



史跡備中国分尼寺跡CG制作 平石守
※南からのCG

南門

CG
初
公開!!

知ってました？

全国第4位の古墳が
岡山にあるんです

つくりやまこふん

史跡 造山古墳

墳丘の規模は約350mで全国第4位、築造時には国内最大の古墳であった可能性もある巨大な前方後円墳です。墳丘に並べられた埴輪の特徴などから、5世紀初頭につくられたと考えられます。この頃は、大阪の河内平野では300mを超える巨大な古墳がつくられ始めた時期に重なります。このことから、キビにはヤマトに並ぶような大きな勢力があり、さらに倭国を共に治めていたようすも想像できます。(岡山市教育委員会 辛川あかり)

Kibiji Map.



南門

南門は建物規模3間×2間(東西8.4m・南北5.4m)、東西12m・南北4.8mの基壇に建てられた礎石建物で、寺域に出入りするための正面玄関です。南側の礎石①は北側の2石に比べて、大きな石材を使用しています。都と九州大宰府を結ぶ主要官道である古代山陽道に面しているお寺の正面を意識して、大きな礎石を設置したと考えます。



南門調査の様子(南東から)

ときめきポイント

備中国分尼寺の周りには築地(土を固めた土塀)が巡っていました。この築地は東西112m、南北228mの寺域を囲み、境界を示していました。

一方で金堂や講堂は築地よりも地形的に高い場所にあるため、見晴らしのよい位置にあったということがCGを制作し改めて確認できました。当時は国分尼寺の周辺からも金堂、講堂といった建物が自然と視界に映ったことでしょう。

こちらから詳しい調査成果が御覧いただけます。
岡山県古代吉備文化財センターHP
→史跡備中国分尼寺跡パンフレット



遺跡

ときめきポイント

平成26(2014)年から岡山市教育委員会により継続的に発掘調査が行われています。調査によって、墳丘斜面は葺石に覆われ、平坦面(テラス)には埴輪が列をなして並べられていたことなど、構造の一部が明らかになってきました。現在も調査中であり、未解明な部分が多いため古墳です。今後の調査にご期待ください。



造山古墳後円部葺石と埴輪列：岡山市教育委員会



造山古墳VR映像：岡山市



こちらから築造過程や陪塚の当時の姿が御覧いただけます。
造山古墳VR映像

岡山市造山古墳ビジターセンター
施設紹介



造山古墳と周囲にある古墳(陪塚)がつくられた当時の様子を、CG動画で再現し、造山古墳ビジターセンター等で公開しています。実際に古墳に登りその大きさを感じ、頂上からの景色を楽しんでいただくとともに、動画では築造当時の堂々たる姿や、古墳づくりに携わった人々の営みをVR映像で体感できます。

ぼくを真上から
よく見てみると…
右手と左手があって…?
なんだか人型にも見えるよ!

遺跡で見つける推しスポット、
皆さんも探してみてくださいね!

実は…3DCG初公開!

ときめきの建築を、ぜひ
擬似体験してください!

史跡 備中国分尼寺跡

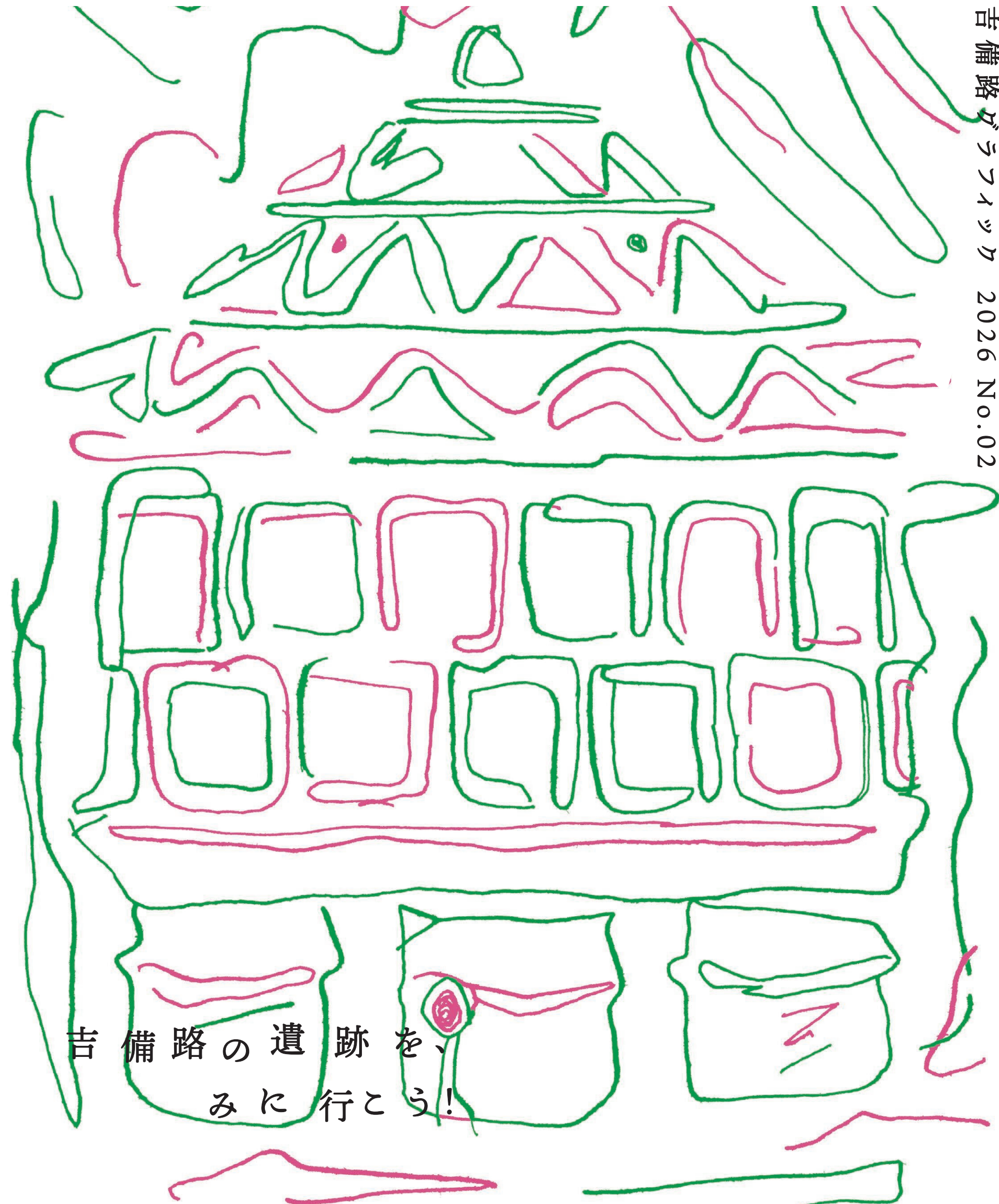
今から約1,300年前の奈良時代、聖武天皇が国ごとに建立を命じた国分寺・国分尼寺の1つです。令和5(2023)年度から、岡山県古代吉備文化財センターによる発掘調査が行われており、建物の規模や基礎構造などが明らかになってきています。
(岡山県古代吉備文化財センター 竹田千紘)



時空を超えたスポット探しに出かけませんか

kibiji graphic

2026 No.02



遺跡で俳句

ぜひ吉備中枢の史跡とともに
俳句を詠んで思い出を残しませんか

ひと尾根が国分尼寺や松涼し
夏の蝶国分尼寺に入れ替る
萩にふれ国分尼寺を後にする

一句集「吉備」より



備中国分寺、こうもり塚古墳、備中国分尼寺。その威容を仰ぎながら、異国の貴客は、古代山陽道を平城京へと向かった。なにかんづく、国分尼寺は、尾根と一体化した静謐さで進行く人の心を捉えたことだろう。そこは今、松林に風が吹くばかりだ。

▲史跡備中国分尼寺跡：小倉護氏撮影

岡山・広島・岩国
俳句倶楽部代表

佐保光俊

▼史跡遠山古墳：小倉護氏撮影

この地域では古墳から寺院跡まで多様な遺跡が四季によって趣を変えている。発掘などに携わった二年間でそこに身を置いたときに生まれる印象を大切に句作を行ってきた。遺跡の風光が少しでも伝われば幸いである。



竹田千紘

墳丘を道標にし風光る
春めいて巨石墳に立つてをり
鰯雲礎石にうつる木陰濃き

層塔の基壇につる青風
僧寺から尼寺へと巡り雲雀鳴く
石室を出て蝶々のはらり来ぬ

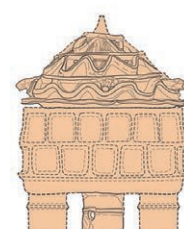
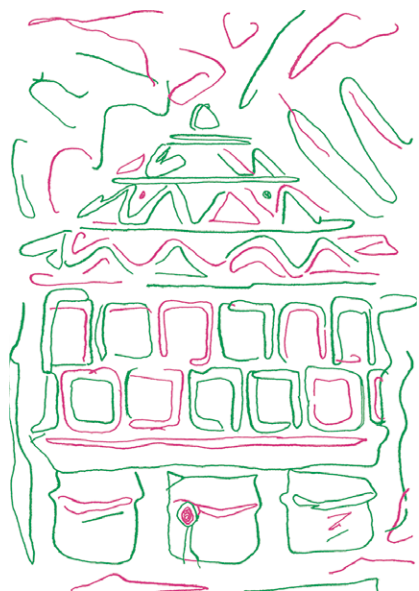
松本卓士



歴史紡ぐ「吉備路」。観光対象の「それ」ではなく、ブーバー哲学の如く全存在で響き合う「汝」として、歴史や自然と魂で交感した瞬間を三句に込めました。ただの「風景」から、心通わせる「対話相手」へ。その息吹を。

▲史跡こうもり塚古墳

表紙イラストについて



陶棺復元案

こうもり塚古墳から出土した陶棺をモチーフに、その神秘的な造形を自由な線で再構成した表紙イラストです。陶棺に宿る手仕事の痕跡と、手で創るデザイン感覚を重ね、「吉備路」の歴史を身近で新鮮に伝えています。

調査の最前線が分かる!!

楯築遺跡 （倉敷市） たてつきいせき



調査担当
イチオシ!!

楯築遺跡は、弥生時代後期（2世紀後半）に築かれた、推定全長83mの全国最大級の墳丘墓です。墳丘は、開発によって突出部の大半が失われたため、現在はその全体像を見ることができませんが、本来は円丘部の両端に2つの突出部がある「双方中円形」という特徴的な形をしており、前方後円墳の祖型になったと考えられています。また、円丘部に並ぶ立石は他に類例がなく、「桃太郎伝説」と結び付けられ、遺跡の名前の由来にもなっています。

（倉敷埋蔵文化財センター 迫田圭一郎）



楯築遺跡の詳しい解説はこちらから



倉敷市教育委員会文化財お知らせページ

作山古墳 （総社市） つくりやまとふん



調査担当
イチオシ!!

作山古墳は5世紀中頃に築造された全長282mの前方後円墳で、全国第10位、県内第2位の大きさです。総社市では作山古墳の保存・活用計画を定めるにあたり、令和7年度から6年計画で発掘調査を実施しています。

令和7年度は、前方部の構造や古墳北西部に存在する「張り出し部（祭祀を行った方形の壇）」に並んで取り付く「張り出し部」の性格のほか、濠や堤の有無を確認するために調査を行いました。その結果、墳丘から葺石や円筒埴輪などが見つかったほか、「張り出し部」からは、円筒埴輪に加えて家や盾をかたどった形象埴輪や須恵器など、祭祀に使った遺物が出土しました。

初めての調査で多くの発見があった作山古墳。今後も成果にご期待ください！

（総社市産業部文化財課 岩橋惇也）



総社市 最新の調査成果はこちらから
R7 現地説明会資料（PDF）



岡山県古代吉備文化財センター
情報発信



岡山県古代吉備文化財センター HP
岡山県古代吉備文化財センター Instagram

吉備路の遺跡を、
みに行こう!